

令和3年度橋本市水道事業報告書

1. 概 況

(1) 総括事項

(給水状況)

本年度の有収水量は6,075,558 m^3 で昨年度に比べ581,543 m^3 の減少となっています。これは、隔月検針の開始に伴い調定が1カ月後ろ倒しとなったことが主な要因です。総配水量は7,902,113 m^3 となりました。

施設利用率は44.18%（平均配水量 21,650 m^3 /日÷施設能力 49,000 m^3 /日）となっています。

施設能力が令和2年度よりも減少している要因としましては、前年度に行った紀の川右岸送水管の布設に伴う施設の統廃合が本格的に始まりました。それにより従来橋本市が持っていた施設能力58,900 m^3 /日から施設利用を停止しました高野口浄水場の施設能力9,900 m^3 /日が減少したことで、施設利用率につきましても、上昇するに至りました。

(建設改良工事)

配水施設改良費は、令和2年度の繰越工事として国道371号共同溝設置工事に伴う水道管移設工事 1件24,981,000円（税込み）を施工しました。

また、令和3年度工事として出塔污水管渠築造（第2工区）工事に伴う水道管移設工事 1件5,076,500円（税込み）を施工しました。

拡張費においては、令和3年度工事として、第5次拡張事業 原田地内減圧弁設置工事など3件114,485,800円（税込み）を施工しました。

なお、継続費で予算計上している橋本市浄水場第1期更新事業（総額2,825,200,000円。期間：令和3年度～5年度）の令和3年度年割額63,623,000円（税込み）を令和4年度に逐次繰越しました。

(大滝ダム負担金)

大滝ダムの維持管理負担金として国土交通省に 28,754,336円（税込み）、和歌山県に対し原水供給に係る費用として 35,518,635円（税込み）を支出しました。

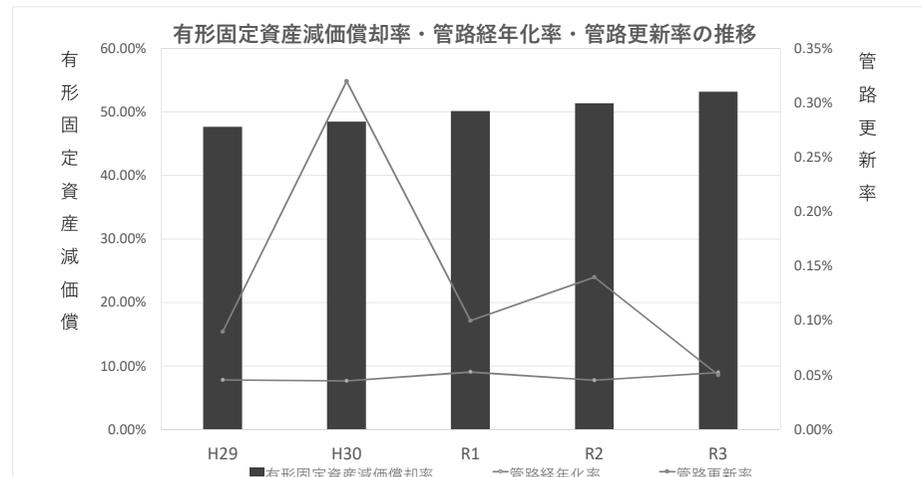
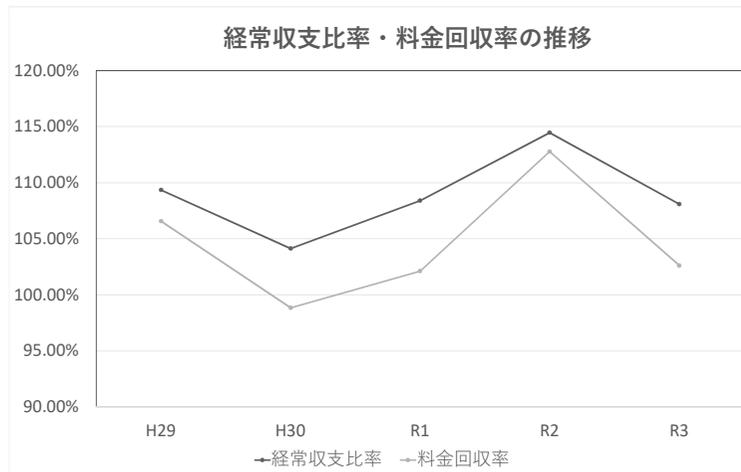
(2) 経営指標に関する事項

令和3年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、有収水量の減少に伴う給水収益の減少により前年度比6.39ポイント減の108.08%となりましたが、健全経営の水準とされる100%を上回っています。また、料金水準の妥当性を示す料金回収率は、前年度比10.17ポイント減の102.61%となりましたが、事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況とされる100%を上回っています。

一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比1.83ポイント増の53.19%、法定耐用年数を経過した管路延長の割合を示す管路経年化率は前年度比1.2ポイント増の8.97%と施設の老朽化が進んでいるのに対し、当該年度に更新した管路延長の割合を示す管路更新率は前年度比0.09ポイント減の0.05%に留まっています。これは、未だ更新需要のピークを迎えていないこと、大口径の基幹管路の更新を優先的に実施しているためであり、将来の更新需要に備え現在の経営状況を維持しつつ、引き続き計画的な施設更新をおこなってまいります。

<経営指標の推移>

	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	前年度増減
経常収支比率	109.35%	104.13%	108.41%	114.47%	108.08%	△ 6.39%
料金回収率	106.56%	98.84%	102.12%	112.78%	#REF!	#REF!
有形固定資産減価償却率	47.66%	48.47%	50.16%	51.36%	53.19%	1.83%
管路経年化率	7.79%	7.65%	9.05%	7.77%	8.97%	1.20%
管路更新率	0.09%	0.32%	0.10%	0.14%	0.05%	△ 0.09%



令和3年度橋本市水道事業損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

	円	円	円
1. 営業収益			
(1) 給水収益	1,166,757,150		
(2) 分担金	32,684,605		
(3) 受託工事収益	0		
(4) 他会計負担金	1,851,841		
(5) その他営業収益	<u>48,331,779</u>	1,249,625,375	
2. 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	249,629,444		
(2) 配水及び給水費	171,293,656		
(3) 総係費	180,477,340		
(4) 減価償却費	870,361,768		
(5) 資産減耗費	9,278,396		
(6) 受託工事費	0		
(7) その他営業費用	<u>3,900</u>	<u>1,481,044,504</u>	
営業損失			231,419,129
3. 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	1,291,491		
(2) 他会計繰入金	1,425,685		
(3) 他会計負担金	2,977,123		
(4) 長期前受金戻入	398,315,582		
(5) 雑収益	<u>5,872,336</u>	409,882,217	

	円	円	円
4. 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	33,860,111		
(2) 減価償却費	20,147,384		
(3) 雑支出	325,253	54,332,748	355,549,469
経常利益			124,130,340
5. 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	579,444		
(2) 固定資産売却益	0		
(3) 長期前受金戻入	0		
(4) その他特別利益	0	579,444	
6. 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	1,541,185		
(2) 固定資産売却損	0		
(3) 減損損失	0		
(4) その他特別損失	0	1,541,185	△ 961,741
当年度純利益			123,168,599
前年度繰越利益剰余金			0
当年度未処分利益剰余金			123,168,599

	円	円	円	円
2. 流動資産				
(1) 現金預金			4,258,303,866	
(2) 未収金	178,600,251			
未収金貸倒引当金	<u>△ 3,066,637</u>		175,533,614	
(3) 貯蔵品			27,628,991	
(4) 前払金			63,630,000	
(5) 未経過保険料			126,975	
(6) 他会計貸付金			<u>0</u>	
流動資産合計				<u>4,525,223,446</u>
資産合計				<u>28,407,675,982</u>

負債の部

	円	円	円	円
3. 固定負債				
(1) 企業債			1,321,322,155	
固定負債合計				1,321,322,155
4. 流動負債				
(1) 未払金			99,118,101	
(2) 企業債			188,307,729	
(3) 賞与引当金			13,388,000	
(4) その他の流動負債			<u>59,409,405</u>	
流動負債合計				360,223,235

	円	円	円	円
5. 繰延収益				
(1) 長期前受金				
イ 他会計補助金	290,749,181			
ロ 国・県補助金	4,276,550,067			
ハ 他会計負担金	88,180,218			
ニ 受贈財産評価額	1,402,001,699			
ホ 開発寄附金	7,526,520			
ヘ 工事負担金	12,714,757,036			
ト その他長期前受金	3,156,528,296			
長期前受金合計			21,936,293,017	
(2) 長期前受金収益化累計額				
イ 他会計補助金	△ 42,288,579			
ロ 国・県補助金	△ 2,122,771,021			
ハ 他会計負担金	△ 31,613,128			
ニ 受贈財産評価額	△ 661,103,095			
ホ 開発寄附金	△ 6,261,265			
ヘ 工事負担金	△ 7,639,139,989			
ト その他長期前受金	△ 1,684,495,161			
長期前受金収益化累計額合計			△ 12,187,672,238	
繰延収益合計				9,748,620,779
負債合計				11,430,166,169

資 本 の 部

	円	円	円
6. 資 本 金			12,695,062,705
7. 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			
イ 工 事 負 担 金	156,089,738		
ロ 国・県 補 助 金	8,065,179		
ハ 開 発 寄 附 金	1,004,486		
ニ 受 贈 財 産 評 価 額	190,503,198		
ホ その他の資本剰余金	15,658,932		
資本剰余金合計		371,321,533	
(2) 利 益 剰 余 金			
イ 減 債 積 立 金	204,653,349		
ロ 利 益 積 立 金	751,853,394		
ハ 建 設 改 良 積 立 金	2,831,450,233		
ニ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	0		
利益剰余金合計		3,787,956,976	
剰 余 金 合 計			4,159,278,509
資 本 合 計			16,854,341,214
負 債 資 本 合 計			28,284,507,383

令和3年度 橋本市水道事業キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	123,168,599
減価償却費	890,509,152
固定資産除却費	8,933,336
減損損失	0
過年度損益修正損益(△は益)	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	36,249
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 1,158,000
雑収益(△は減少)	△ 2,633,699
長期前受金戻入額(△)	△ 398,315,582
受取利息等(△)	△ 1,291,491
支払利息等	33,860,111
未収金の増減額(△は増加)	△ 27,099,300
未払金の増減額(△は減少)	△ 12,043,616
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 1,568,873
その他資産の増減額(△は増加)	△ 2,434
その他負債の増減額(△は減少)	△ 423,998
小計	611,970,454
利息及び配当金の受取額	1,291,491
利息の支払額(△)	△ 33,860,111
業務活動によるキャッシュ・フロー	579,401,834

II 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出(△)	△ 243,901,282
無形固定資産の取得による支出(△)	0
国庫補助金等による収入	0
国庫補助金等の返還	0
補償金による収入	19,580,700
一般会計等からの繰入金による収入	7,795,000
他会計貸付金による支出(△)	△ 54,190,000
他会計貸付金収入による収入	54,190,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 216,525,582

III 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出(△)	△ 185,299,182
企業債による収入	25,200,000
他会計からの出資による収入	1,040,504
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 159,058,678
資金に係る換算差額	0
資金増加額(又は減少額)	203,817,574
資金期首残高	4,054,486,292
資金期末残高	4,258,303,866